

研究番号 1820号 承認日 2023年10月3日  
研究実施予定期間 承認日～2023年11月30日

## 情報公開文書

|   |   |
|---|---|
| 1. 研究課題名  | 体外循環式心肺蘇生法を要した急性心筋梗塞に対する付加的補助循環の有用性   |
| 2. 研究の目的及び<br>実施計画の概要<br>(研究に薬品や機器がある<br>場合には品名と一般名も記<br>載) | 体外循環式心肺蘇生法 (ECPR) では、V-A ECMO が第一選択となるが、ECMO 単独使用では後負荷の上昇による肺うっ血が問題となり、IABP の併用がしばしば行われる。近年、より強力な LV unloading 効果を有する Impella が使用可能となったが、ECPR における有用性は明らかとなっていない。今回、心原性ショックに対して ECPR を実施した症例において、付加的な補助循環 (MCS) の有用性、妥当な選択について明らかにすることを目的として、本研究を行った。   |
| 3. 研究責任者<br>氏名・所属・職・所属機関                                    | 正井 崇史 心臓血管外科 副院長 大阪警察病院   |
| 4. 研究実施責任者<br>氏名・所属・職・所属機関                                  | 濱田 直弥 臨床工学科 係長 大阪警察病院   |
| 5. 研究の分類  | <p>〈侵襲性について〉<br/><input type="checkbox"/> 侵襲を伴う研究<br/><input type="checkbox"/> 軽微な侵襲を伴う研究<br/><input checked="" type="checkbox"/> 侵襲を伴わない研究</p> <p>〈共同研究の有無について〉<br/><input type="checkbox"/> 多施設共同研究<br/><input checked="" type="checkbox"/> 当院のみの研究<br/><input type="checkbox"/> その他 ( )</p> <p>〈介入について〉<br/><input type="checkbox"/> 介入を伴う研究<br/><input checked="" type="checkbox"/> 介入を伴わない研究 (観察研究)</p> <p>〈インフォームド・コンセント (アセント) について〉<br/><input type="checkbox"/> 必要<br/><input checked="" type="checkbox"/> オプトアウト</p> <p>〈対応表の作成の有無について〉<br/><input type="checkbox"/> あり<br/>(具体的な管理方法について: )<br/><input checked="" type="checkbox"/> なし</p> <p>〈モニタリングと監査について〉<br/><input type="checkbox"/> 必要 ⇒ ・モニタリング実施者 ( )<br/>・監査実施者 ( )<br/><input checked="" type="checkbox"/> 不要</p> |
| 6. 連絡先  | <p><b>【照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先】</b><br/>大阪警察病院<br/>大阪市天王寺区北山町 10-31<br/>診療科: <u>臨床工学科</u><br/>担当者: (氏名) <u>加藤 大三</u> (職名) <u>課長</u><br/>連絡先: 06-6771-6051</p> <p>※本研究に関するご質問等がありましたら上記の連絡先までお問い合わせ下さい。また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんのでお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。</p>   |